

平成22年度 地域包括支援センター・在宅介護支援センター事業計画（概要）

1 主な事業内容

(1) 総合相談・支援

高齢者やその家族の、介護や暮らしに関する多様な相談を受け止め、できるだけ自立した尊厳のある生活が継続できるように必要な支援につなぎます。

(2) 見守りネットワーク

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられることを目的として、要援護高齢者を地域でさりげなく見守り、必要に応じて適切な支援につなげられるよう、事業のさらなる周知とネットワークの構築を推進します。

(3) 災害時要援護者支援事業への取組

災害時に自力で避難ができない要援護高齢者を把握するための実態調査に取り組み、災害時の支援体制を整備します。また、その情報を日常の見守り支援活動に活用します。

(4) 認知症高齢者対策

府中市認知症サポーター「ささえ隊」養成講座を、市内小中学校や警察署、消防署等へも広く実施し、認知症になっても安心して暮らし続けられる地域づくりを推進します。

また、「ささえ隊」の中で積極的な活動を希望する「ささえ隊ネット名簿登録者」が、地域に必要な支え合い活動の方策について検討実施することを支援していきます。

さらに、家族介護者懇談会の開催を拡充し、介護者同志のネットワークの構築をすすめます。

(5) 介護予防事業の拡充

『高齢者が住みなれた地域で安心していきいきと自立した生活を継続できる』ことを目標に、介護予防コーディネーターを中心とした介護予防事業を実施し、普及啓発に努めます。また、介護予防健診を見直し、新規事業として「うつ予防教室（はっぴー教室）」を実施します。

(6) 「福祉まつり&元気一番まつり」への参加

10月16日（土）・17日（日）、府中公園で開催し、介護予防事業等の普及啓発活動を行います。

2 地域包括支援センターの重点取組

別紙平成22年度地域包括支援センター事業計画（重点取組）を参照

3 在宅介護支援センターの重点取組

地域の身近な総合相談窓口として、要援護高齢者やその家族の在宅介護や生活全般の様々な相談に応じ、保健、福祉サービスが総合的に受けられるよう関係機関との連絡調整を行い、高齢者の生活を支えます。

また、担当地域の高齢者の実態を把握し、その情報を適切に総合相談業務や見守りのネットワークの構築に活かします。